

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#15

前乗地区から佐須峠へ。佐須行政区内の県道31号線沿いを通りかかると、鮮やかな黄色に染まったヒマワリ畑が、次々に現れました。

7月から8月にかけて、ドライバーを楽しませてくれたこのヒマワリ畑。佐須農業復興組合（菅野和彦代表）が種を購入し、皆で協力して種まきを行ったものでした。「県道を通る皆さんに見てもらえたらと、地元が協力して取り組みました」と菅野代表。所によってはイノシシの被害もあったということですが、山の緑とヒマワリとのコントラストは見事で、心に染みる美しさでした。太陽を見上げるヒマワリが口々に、「がんばってやっていますよ」という地元の皆さんのメッセージを伝えているようにも見えました。



写真は8月上旬、佐須峠から望む佐々木剛さん（佐須）の畑。

佐須のヒマワリ畑
佐須農業復興組合

料理番組や雑誌などでも活躍されている料理研究家・上島亜紀（かみしまあき）先生。実は、飯館村でも、明治大学が進めている、村の食材を使ったオリジナルカレーパンのレシピ開発にご協力をいただいています。今回おすすめする上島先生の料理本では、お手軽なものから本格派、さらには健康志向の料理まで、数多くのレシピが紹介されています。ぜひ活用を！



上島亜紀 著

(右) 考えなくていい冷凍作りおき ナツメ社

(中) 無水調理からパンまで何度も作りたくなるストウブレシピ ナツメ社

(左) もっとおいしく作れる！ きほんのおかずと毎日の献立 Gakken

問 交流センター「ふれ愛館」 本の貸出時間

☎ 0244-42-0072

平日：午前8時30分から午後5時

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します

話題のパレット

身近な話題を
お寄せください
☎0244-42-1613

村カフェ753



モチモチのベーグルが人気の「村カフェ753(なごみ)」。7月24日は初の貸し切りで、NPO法人「コーヒータイム」を迎えました。同法人は、浪江町で、主に精神障がい者の方々のための作業所を運営。震災後は二本松市に拠点を置いています。利用者とスタッフ約30人が来店し、なごみの時を過ごしました。



隣接する市澤農園にてブルーベリー摘みも体験！オーナーの市澤秀耕さん（深谷）が快く協力してくださったそう。

イイタネちゃんポーチ



1個 1,000円で販売し120個を売り上げました。売上金は、交流が続くラオスの集会施設の建設に寄付する予定です。

「いいたて希望の里学園」後期課程の生徒が、「ふるさと学」の学びの一環で、企画・デザインした「イイタネちゃんポーチ」。製品として300個が完成しました。8月9日には、「いいたて村の道の駅までい館」で開催された「いいたてにぎわい夏祭り」の中で、生徒が自ら販売しました。

かわいい
ポーチが完成
しました！



予約制で
営業中です

気まぐれ茶屋ちえこ



「自分に気合を入れて生きていかないとね」と佐々木さん。見習いたいですね。

昨年5月に再開した佐々木千栄子さん（佐須）の農家レストラン。滋味あふれる故郷の味が、広く愛されています。ところが冬季休業が開けたこの春、新型コロナウイルス感染拡大の影響で再び休業に…。再開時期にも悩みましたが、6月からは、予約制に切り替えて、利用希望に応じています。

予約は3人以上が目安。土日祝日も可。できれば3日前までに連絡を。
☎0244-42-1303